



関川村

第127号

令和4年5月15日発行

2022

議会だより



議会モニター決まる!!

- 1・2・3月臨時会議、3月定例会議報告 2 ページ
- 予算審査特別委員会 4 ページ
- 一般質問 7名登壇 6 ページ
- 議会モニター 13 ページ
- 村民の声 内山 巧さん 14 ページ



村のホームページでもご覧になれます。
<http://www.vill.sekikawa.niigata.jp/>

発行 関川村議会 発行責任者 議長 渡邊秀雄
編集 議会広報常任委員会 TEL (0254) 64-1494

会議報告

1月20日(第1回) 臨時会議

■一般会計補正予算 1億9390万円の 追加補正

- ◇総務費 383・3万円
情報システム管理費、マ
イナンバー関係システム改
修委託料です。
- ◇民生費 6557万円
住民税非課税世帯等臨時
特別給付金、保育園管理費
等の補正です。
- ◇衛生費 347・6万円
新型コロナウイルスワク
チン接種事業費の補正です。

◇農林水産業費 23・1万円

国県支出金精算返還金等
です。

◇商工労働費

2000万円
新型コロナウイルス感染
症拡大防止協力金です。

◇土木費 7000万円

道路除雪対策費です。

◇消防費 2711万円

常備消防運営委託料等
です。

◇教育費 368万円

学校管理費、備品購入費
等です。

■村有温泉特別会計補正予算 35万円

温泉施設修繕費として35
万円を追加するものです。

2月15日(第2回) 臨時会議

■専決処分報告について 280万円の追加補正

◇総務費 280万円

安心安全対策費としてP
CR検査の手数料等です。

■組織改正に伴う関係条例 の整理に関する条例の制定 について

◇総務政策課を総務課とし
て地域政策課を新たに設置
するものです。

■関川村健康施設の設置及 び管理に関する条例の一部 を改正する条例

◇関川村健康増進施設(コ
ラッシュエ)の利用料金に新
たに学生とシニアの料金を
設けるものです。

■せきかわふれあいどくむ の設置及び管理に関する条 例の一部を改正する条例

◇健康増進施設(コラッシ
エ)の設置により、ふれあ
いどくむのトレーニングル
ームを廃止するため、規定
を条例から削除するもの
です。

■道の駅リニューアル工事 変更請負契約の締結につ いて

◇令和2年度繰越道の駅
リニューアル工事(第2工
区)

- ・変更前の請負金額 6215万円
- ・変更後の請負金額 7602・98万円
- ・契約の相手方 株式会社 渡辺組

3月10日(第3回) 定例会議

■関川村個人情報保護条例 の一部を改正する条例 (抜粋)

◇行政機関個人情報保護法
と独立行政法人等個人情報
保護法が新たな個人情報保
護法となることに伴い、条
例を改正するものです。

■関川村子どもの医療費助 成に関する条例の一部を改 正する条例

◇保険医療機関等ごとに一
日につき1200円となっ
ていますが、規則に基づき
受給者から申請があったと
きは、一部負担金を0円と
することに改正するもの
です。

■関川村重度心身障害者 医療費助成に関する条例の 一部を改正する条例

◇保険医療機関等ごとに一

日につき1200円となつていますが、規則に基づき受給者のうち満18歳に達した日以後の3月末までの児童について、助成の申請があったときは、一部負担金を0円とすることに改正するものです。

■過疎地域持続的発展計画の変更について

◇施策区分、産業の振興の事業内容の変更として農業競争力強化農地整備事業が経営体育成基盤事業に事業名変更します。女川地区のほか4つの地区が計画されています。

■一般会計補正予算
9500万円追加補正

◇情報システム管理費

2026・2万円
システム改修委託料です。

◇一般管理費

20万円

◇ふるさと応援基金管理費 3500万円

◇新型コロナウイルスワクチン接種事業費 66万円
接種券作成業務等委託料です。

◇斎場管理費 8・8万円
斎場運営費委託料です。

◇農業振興総務費

336・4万円
担い手確保・経営強化支援事業補助金です。

◇商工業振興費

450万円
新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金です。

◇道の駅周辺整備事業

100万円
設計施工監理業務委託料です。

◇郷蔵解体工事等

3000万円
郷蔵前緑地帯撤去、道路拡幅工事等です。

◇道路除雪対策費 400万円

光熱水費です。

2000万円
除雪作業等委託料です。

◇道路橋りょう維持費

1100万円
工事請負費

平内新・山本・上野消雪パイプ工事、上新保舗装オーバーレイ工事、辰田新水路転落防止柵、橋場・安角道路側溝等工事などです。

4500万円
南中橋補修工事です。

◇住宅管理費 100万円

村営住宅の修繕料です。

◇健康増進施設管理費 50万円

施設管理委託料です。

■国民健康保険事業特別会計補正予算

◇財政調整基金積立金

2130万円
積立金です。

◇償還金 209万円

◇直営診療施設勘定繰出金 △350万円

■国民健康保険関川診療所特別会計補正予算

1210万円追加補正

◇一般管理費 △390万円
備品購入費です。

◇診療所管理基金管理費 1600万円
積立金です。

■介護保険事業特別会計補正予算

500万減額補正

◇介護給付費準備基金費 2330万円

◇介護サービス等費 △2830万円

△1830万円

△1000万円

給付費

■教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
山口良明さんの任命について同意されました。

■人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
鈴木精一郎さんが適任と認められました。

3月30日(第4回) 臨時会議

■道の駅リニューアル工事(第一工区)請負契約の締結について

・契約金額 5940万円
・契約の相手方 鈴木土建 株式会社

令和4年度 予算審査特別委員会

3月定例議会において、令和4年度の予算審査が委員会付託され、委員長 伝 信男、副委員長 平田 広、他委員7名にて、3月11日・14日の2日間にわたり審議されました。抜粋し、一部紹介いたします。

一般会計当初予算 46億8,300万円【前年比2億700万円減】

※ **新**新規 **拡**拡充

一般会計

(抜粋)

総務費

7億3203万円

■地域活性化起業人負担金**新**
3800万円

Q 観光、脱炭素、農業、※DXの4部門の専門スタッフを雇用との事だが、扱いは。

A 常勤もしくは非常勤で、民間企業からの出向派遣扱いです。2年間で調査、計画したうえで、立案や方向性など、ある程度かたちにする予定です。

※DX(デジタルトランスフォーメーション)とは「進化するテクノロジーによって人々の生活をより良いものに変化させる」という概念



イメージ

■グリーンチャレンジ戦略 策定業務委託料**新**
1000万円

Q 業務内容は。

A 村全域での潜在能力を調査し再生可能エネルギーの導入。温室効果ガスの削減や脱炭素への取り組みなど、国の指針に沿い、ゼロカーボン化にむけた戦略的取り組みです。

■通学定期券購入補助金**拡**
438万円

Q 拡充の範囲、人数は。

A 補助対象の範囲を大学、専門学校まで広げます。30名程度の予算を繰上しています。



■結婚新生活支援事業補助金
250万円

Q 昨年からの継続事業だが実績は。

A 結婚祝い金は7件。引越支援1件の申請がありました。4年度も継続します。



下関駅通学風景

Q 拡充対象者への周知は。
A 情報発信は対象者へ伝わるようにします。

民生費

9億240万円

■お届けお昼ごはん事業委託料**拡**
320万円

Q 内容は。

A 食の確保に困っている人が対象で、月曜日から土曜日の昼食補助です。申し込み窓口は社会福祉協議会で

■雪下ろし助成事業委託料**拡**
242万円

Q 内容は。

A 社会福祉協議会から村の事業となったもので、人件費と事務費です。

農林水産業費

3億160万円

■農林業総合支援システム改修委託料 198万円

Q 農業者が村のシステムにアクセスし栽培履歴管理ができ

るようになるが、個人負担金はあるか。

■A 負担金はありません。田植え前に委託契約し環境を整えたいです。

■木質バイオマスストーブ等設置補助金^新 80万円

■Q 設置工事費も対象か。

■A 薪ストーブ本体と煙突の購入費が補助対象です。



商工労働費

3億5226万円

■道の駅周辺整備工事費

1050万円

■Q 看板工事以外に予定している工事は。

■A 舗装復旧工事や区画線整備です。トイレ工事は3年度の繰越事業で行う予定です。

■スキー場施設等解体撤去工事 1000万円

■Q 解体内容は。

■A 駐車棟、チケット棟、看板等の解体を予定しています。



■樹木等伐採委託料

120万円

■Q 桜の伐採は農地の日照問題に伴うものか。

■A 大島地内の農道に枝が出て、車の通行を妨げているため、69本切ります。

土木費

8億1100万円

■PCB含有塗膜調査委託料^新 700万円

■Q 対象橋梁数は。

■A 25橋中14橋は終了しています。4年度は残りの11橋を調査します。

■雪下ろし命綱固定アンカー設置補助金^新 80万円

■Q 命綱アンカーの種類は。

■A 村の基準に合わなければ補助は受けられません。



消防費

2億8067万円

■備品購入費 520万円

■Q 消防ポンプ積載車の購入との事だが、台数が増えるのか。

■A 車輛の入れ替えで、台数を増やす計画はありません。



積載車

教育費

3億6707万円

■中学校ランクルーム空調改修工事^新

2750万円

■Q エアコンの更新か。

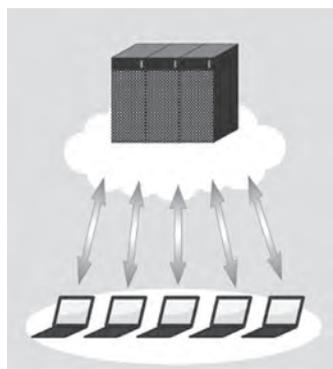
■A 現在使用している灯油式

からガス式へのエアコン改修工事です。

■校務支援システム使用料^新 210万円

■Q どのようなシステムか。

■A 指導要録、通知表、名簿など一元的に管理できます。クラウド利用で校務にて使用するパソコン台数分の契約になります。



■会計年度任用職員報酬等^拡 3054万円

■Q 人員増による増額か。

■A 運転員2名が総務費計上から教育費計上への変更等によるものです。

一般質問



伝 信男 議員

・ パワープラント関川と
わかぶな高原スキー場の
債権について
不納欠損の時期は

議員

昨年九月の定例会議で、パワープラント関川の現状とその対応についての質問で、「社長が離れているので、前村長にも取締役として会社の処理方針を示すようお願いしているが、現時点で明確な返答はありません。」との答弁だったが、その後も社長又は取締役との話し合いがされているのか。また、その進展状況を伺う。

村長

社長や取締役に對して会社整理などの処理を再三促していますが、具体的な進展はまだまだありません。

取締役である前村長にはこの問題にはじめをつける社会的責任があると思えますので、引き続き処理を進めるよう要請していきます。

議員

どのようなかたちで、社長や取締役と話し合いをしているのか。

総務政策課長

社長とは携帯電話や文書で、取締役とは、文書を手渡しし話をしたり、役場に

来てもらったり、私が出向いたこともあります。いずれもかなりの回数を重ねていますが進展はありません。

議員

もう一人の取締役である当時のパイロライザージャンの社長との連絡はどれているのか。

村長

私が村長就任以来一度もお会いしたことはありません。今後、村があえて連絡を取る必要もないと考えています。

議員

株式会社パワープラント関川の債権を不納欠損の手続きをする前に、村としてこの事業の検証を行う考えはないか。

村長

本事業は、必要な資金調達のためどがつかず具体的な事業に着手することなく頓挫したと認識しています。

株式会社パワープラント

関川が設立され八年以上経過して、私が村長に就任して事業の廃止を表明した後

も、新たな動きは一切ありません。

残念ながら、本事業計画が本村における今後のバイオマス発電事業の参考になるとは思えませんので、事業内容を具体的に検証する考えはありません。

議員

パワープラント関川の処理はいつごろか。

総務政策課長

債権が存在しているのので一つの節目としては時効があります。

時効が成立するのが令和四年十月ですので、これが大きな節目の一つだと思っています。



バイオマス発電に使用予定であった廃木



リフトが撤去されたスキー場跡地

議員

パワープラント関川と関連があるわかぶな高原スキー場の債権についても同様に不納欠損するのか。

村長

村が有する債権については、顧問弁護士とも相談していますが、株式会社パワープラント関川と同様に資産状況からみて回収は見通せないため、地方自治法の規定により不納欠損等の処理もやむを得ないと考えています。

一般質問



小澤 仁 議員

・脱炭素社会に向けて

議員

村長の施政方針において、積極的に脱炭素への取り組みを行う事を示された、当村において脱炭素社会にむけた取り組みをどのように推進していくかを伺う。

村長

近年、気候変動による異常気象が世界各地で発生しており、国内におきましても激甚な豪雨、台風災害が多発しています。こうした中、我が国では一昨年10月に2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、脱炭素社会の実現を目指す事を宣言しました。

村としても村民の生活を守り持続可能な社会を実現する上で、脱炭素の取り組みは不可欠と考えています。お尋ねの脱炭素への取り組みをどの様に推進して行くかについてですが、令和4年度に国の補助事業を活用し、村の持つ再生可能エネルギーのポテンシャル調査を行い、脱炭素社会実現に向けた計画作りを進める予定です。この取り組みに

あたっては、村、村民、関係団体、企業等で構成する関川村地球温暖化対策会議を設置し、関係者の合意形成を図ると共に、村民の皆様にも積極的に情報の提供を行いながら、必要な事業に取り組みたいと考えています。また、2月に国の脱炭素先行地域の計画提案の募集に応募したところです。採択された際には当該会議において具体的な進め方について議論していきたいと考えています。いずれにしても脱炭素の推進は、村を上げて取り組むべき課題です。村民の皆様には必要な情報を適時適切に提供し、ご理解とご協力を頂きながら進めていきたいと考えています。

議員

答弁の中に計画づくりとあるが、いつまでに計画が出来る予定か。

観光・地域政策室長

今回の計画づくりは、ゼロカーボンに関する計画です。国の事業採択の状況にもよりますが、9月中の計画立案を予定しています。

議員

脱炭素先行地域への応募について、実現のために必要な期間と費用は。

観光・地域政策室長

まず、脱炭素先行地域への応募についてです。ゼロカーボン化と言うことで、公共施設を含む一つのエリアを設定しました。その中で費用についてはまだ試算の段階ですが、2030年までに16億から17億程度の費用が必要ではないかと想定しています。

議員

村全体をゼロカーボン化する場合どの程度の事業費が必要か。

観光・地域政策室長

先ほど説明した計画の中身にもよります。地域もつポテンシャル、こういった調査にもよるので、一つのエリアではなく全村に広げれば大きくなるのは確かですが現時点では何とも言えない状況です。

議員

エリアと言う話だが脱炭素先行地域への応募は全村でやるのか、エリアを設定

するの。

観光・地域政策室長

今回の脱炭素先行地域については、道の駅を中心とした役場、小・中学校といった、公共施設を含む周辺エリアという設定をしています。

議員

脱炭素社会が実現することによって、村内の事業所・企業に与える影響は。

観光・地域政策室長

脱炭素の取り組みについては、村民皆様の暮らしの変化、だつたり、経済の循環にも大きな影響があると考えています。ライフスタイルの変化、産業分野のそれぞれの変化、また新技術や設備への投資が期待されるというのが脱炭素社会への取り組みです。実際産業分野においては、新たな事業開拓といったその事業の拡大にも繋がると考えてまして、各企業の皆様にも、この流れを的確に捉えていただきたいと考えています。

一般質問



平田 広 議員

1. 財政運営の健全化と
村の活性化は
2. 入札の現状と改革は

一、財政運営の健全化と村の活性化について

議員

①村には現在93億円の借金があるが、近年のコロナウイルス対策の関係もあり、ここ2〜3年で村の財政状況も大きく変化していると思うが村長の所見を伺う。

②また、コロナ禍で村の経済は疲弊しており、活性化策が必要と思うが。

村長

①村の財政状況については、毎年度財政調整基金(貯金)を取り崩しての決算が続きました。30年に作成した財政シミュレーションでは、このまま対策を講じなければ村の貯金である財政調整基金が5年後には底をつくというものでした。

このため事務事業の見直しや国に対しても交付税措置の充実を要望しました。

こうした中、人口減少に伴う行政需要に配慮した新たな交付税措置が国において行われたことや、幸いにして大きな災害もなかったことなどからその後は財政

調整基金の取り崩しを行わずに財政運営を行うことが出来ていきます。

しかしながら、コロナ対策などで国の財政状況は益々厳しくなっており、今後の地方交付税の動向については十分注意をしていく必要があります。

②人口減少が大きく進む中、昨今の新型コロナウイルスによる消費の落ち込みは大変厳しい状況にあります。

その活性化策として新年度は県外の民間人材による外部目線を取り入れて、定住交流施策を進めていきます。農林業においても専門の知識と経験を有する人材を配置し、新たな視点で村の農林業振興策に取り組みていきます。

議員

新規の取り組み事業である首都圏の民間企業からの出向人材4人分と県のOBである地域林政アドバイザー11人分の財政的裏付けは、

総務政策課長

民間企業からの3人分は特別交付税措置があります。

1人は一般財源となります。地域林政アドバイザーについても特別交付税措置があり、不足分については、森林環境譲与税を充てます。

議員

国の制度である集落支援員や地域おこし協力隊の制度をもっと活用出来ないか。

村長

村には集落支援員3名と協力隊3名がありますが、制度を活用することは大変有効であります。良いと思えるものは積極的に導入していきます。

議員

新規事業計画の外部人材5人の取組みに期待したい。

議員

二、入札の現状と改革について
村発注の公共事業の入札の現状について、落札率は平均96%強とのことでしたが、入札制度をマニュアル化する考えはないか。

村長

村では財務規則や建設工事請負基準約款に基づいて入札事務を行っており、マ

ニユアルとしては事務処理要綱を定めています。

議員

有識者の話では、落札率が95%を超えるものは、本来の入札の競争原理がうまく働いていないと言う人が多い。村の落札率の高さについてはどう考えているか。財政支出を少しでも抑えるため、他自治体のように入札の競争性や透明性を高める制度改革の考えは。

村長

最低価格付近での落札が多い都市部に比べれば高いかもしれないが、村の発注する工事が比較的小規模で単純なものが多く(落札率が高い)要因の一つとして推察されます。ご指摘の通り入札の競争性や透明性を高めることは大変重要なことだと思います。

地元業者優先の考えに変わりはありませんが、現状をしっかりと分析し、他自治体の取組みも参考にしながら、発注方法の工夫などについても検討を進めていきたいと考えています。

一般質問



菅原 修 議員

- ・ 橋梁の管理状況は
- ・ かじか養殖センターの利用は

議員

羽越水害から半世紀が過ぎ、その当時に建設された橋梁の寿命は一般的に50年と言われている。今後、10年から20年後には建設後50年以上の橋梁数が増え、現状の橋梁管理状況では様々な問題が発生することが予測される。村が管理している202ある橋梁の維持管理の現状と今後の取組を伺う。

村長

14年に策定し19年に更新した橋梁長寿命化修繕計画に基づき維持管理と修繕を実施しています。15年から他市町村と共同で専門家に点検業務を委託しており、20年度には全橋梁の点検を終了し、今年度から2巡目に入っているところです。この点検結果で予防措置が必要と判断された52橋のうち、20年度に3橋、今年度2橋の補強工事を実施しており、すぐ手当が必要と判断された2橋は現在通行止めになっています。



間出橋

議員

荒川にかかる間出橋と前瀬橋の点検評価は。

建設課長

間出橋は「予防措置が必要」前瀬橋は「経過観察が必要」との判定です。

議員

かじか養殖センター利用について伺う。

村長

魚の養殖に特化してつくられた施設で、他の目的に使用するのが難しい事もあり、実際の使用につながっていない状況です。

議員

かじか養殖センターを利用する条件は。

農林課長

利用に関しては水産業と関係することであれば問題なく使用出来ます。使用料については規定はありませんが、あくまで水産業ということ募集をしています。

議員

もっと情報発信が必要では。

村長

水産業に限らず、地域が元気になるような事業であれば受け入れ、積極的にPRを行なっていきたいです。



かじか養殖センター

一般質問



伊藤敏哉 議員

・ 出生数の現状を踏まえた「嫁婿対策」などの進め方について問う

議員

今年度(令和3年度)の本村における出生数は13人とのことであり、この事実には驚きとともに危機感を感じたところである。

平成27年度(2015年度)に村人口ビジョンを策定してから7年が経過した。これまでの人口減少対策として実施した嫁婿対策などの村の取組実績と今後の展望について村長の見解を伺う。

村長

村人口ビジョンでは「安心して子供を産み育てられる環境の整備」「若い世代に選ばれる村づくり」「観光や都市部との積極的な交流」を対策の3つの柱に据えています。

「子育て環境の整備」では、医療費助成、通学用定期の購入助成、子育て支援センターや保育環境の充実など20の事業に取組んでいます。

「若者に選ばれる村づくり」では結婚祝い金制度や結婚新生活支援制度など11

事業に取組んでいます。

「観光や都市部との積極的な交流」では、コロナ禍で2年間実施できていない状況です。今後についてはこれまでの事業を検証しつつ、特にセカンドオピニオンの誘致など新たな人の流れの創出に力を入れていきたいと考えています。

議員

本年度の出生数が13人だったという事実を村民に周知し、村民がこの現状をどう捉え、どういう施策が必要と考えるか、まずは村と村民が問題意識を共有することを着実に進めるべきと考えているが村長の見解を伺う。

村長

出生数が減っているのは本村においては若者層の流出が大きな要因です。10年前の平成24年と比べると20〜30代の人口が40%減少しました。出生数の減少とそれが地域に及ぼす影響について、村民の皆さんと共有し、集落やコミュニティ単位でUターンなどの取組みが進むことを期待しています。

す。

村としては、こうした出生数の現状を村民の皆さんと共有するとともに、移住支援、UIJターンの取組み強化、定住のための環境整備、若者に選ばれる村づくりに全力で取組んでいきたいと考えています。



議員

兵庫県明石市では市長が主導して、一貫して子ども、子育てを中心に据えた自治体づくりに取組んできた。子どもの暮らしやすさや子育てのしやすさに重点を置いた政策が地域経済の好循環を生むという考え方に基づいているとのこと。明石市では五つの無料化政策を掲げており、①医療費は高校生まで無料、②給食費は中学生まで無料、③保育料

は第2子以降全員無料、④市内の遊技施設利用料は小学生と保護者1名が無料、⑤おむつを1歳以下は無料配布し配達も可という政策。これら政策の成果として、令和3年12月時点で人口は9年連続増、出生率1.70など大きな成果を出している。自治体の規模や立地など条件は異なるが、村長が先頭に立ち、子育てを中心に据えた村づくりを進める考えはないか伺う。

村長

子育て支援については、新年度予算において、0〜2歳児の保育料引き下げ、園児バスの料金無償化、高校卒業まで入院費の負担金を無償化、3人以上の多子世帯へ給食費助成、通学定期券購入補助を大学生・専門学校生まで拡大など20の事業に取組んでいきます。今後子育て支援の充実に向け検討を進め、どの部分に重点をおくべきか十分考へながら、貴重な財源・資源を投入していきたいと考えています。

一般質問



高橋正之議員

有害鳥獣対策 今後の計画は

議員

村長の施政方針説明の中で、昨年同様「有害鳥獣対策について、対応していきます」としている。有害鳥獣対策については、何度も聞いているが、追跡質問となる。

昨年、ICTを利用したおりやわなによる成果について伺う。

村長

令和2年11月にICT技術を使ったわなの実証実験を行いました。猟友会による検証の結果を踏まえ、令和3年度当初予算にICTわな3台の購入を計上しました。その後、導入費用やランニングコスト、また他団体の取組や実際に使用される猟友会の方から意見を聞きながら再度機種選定を行い、村上市でも導入している機種を選定しました。3月下旬には親機1台・子機4台を購入し、猟友会の協力の下、令和4年度から本格運用が開始される予定となっております。



イメージ

議員

昨年実施した集落環境診断の結果について伺う。

村長

集落環境診断は、専門家による被害状況の把握と集落の方の勉強会を実施し、集落の皆さんと現地調査を行い被害状況の結果を集落地図に取りまとめ、原因と対策を検討しました。この結果、鮎谷集落では電気柵の設置と適切な管理の実施、集落内にある利用されてい

議員

ない不要果樹については伐採や寄りつかせない対策を行うなどの取組が有効と診断されました。

関川村鳥獣被害防止計画は、令和元年度から令和3年度までの変更がされているが、その後の計画について伺う。

村長

村の有害鳥獣対策の方針を定めた計画で、この計画策定が鳥獣被害防止総合対策交付金事業の採択要件の一つとなっております。近年イノシシの被害が拡大していることから、令和2年度末にイノシシを対象鳥獣として加え、計画を見直しています。

令和4年度から令和6年度までの計画期間では、対象鳥獣を猿・イノシシ・カワウと定め、捕獲数の目標や被害金額の低減などに資する対策を盛り込んだ改定を予定しています。この計画には県知事の同意が必要

議員

なことから、現在、県と事前協議を行っており、年度内の同意が得られるよう作業を進めているところです。

鳥獣被害防止計画の中に、対象鳥獣の有効利用に関する事項があるが、内容について伺う。

村長

計画の中に捕獲をした対象鳥獣の食品としての利用等、その有効な利用に関する事項を記載する欄があります。当村では、令和4年度からの計画においても具体的な利用方法などを記載する方向にはないが、イノシシなどの捕獲数も年々増加していると聞いています。また各地で、捕獲獣をジビエとして利用する取組も増えてきており、有効利用することは、捕獲数の増加につながるものと思えますので、猟友会にも意見を聞きながら継続して検討していきたいと考えています。

一般質問



鈴木紀夫議員

雪道の里親制度

議員

地下水位が年々低下している箇所も見受けられるが、今後、消雪パイプの水量確保が困難になってきた場合の対応と、消雪パイプで消し切れない道路端の除雪の対応について伺う。

村長

消雪パイプの散水量が減少した場合は井戸の洗浄をします。洗浄により水量が回復しますが、洗浄を実施しても効果がない場合は、新たな井戸を掘削して対応することになります。新たな井戸の水量が確保できれば問題ありませんが、不足した場合には散水区間を短縮し、残区間または全区間を機械除雪で対応することになります。

また、消雪パイプを使用してもなお消え残った路肩の雪については、現在も降雪や道路の状況を見ながら、機械除雪で対応するよう努めているところです。

議員

村道における消雪パイプの操作は、ほぼ手動で行っているが、これを自動化することによって節水は可能ではないかと考える。消雪パイプ操作盤の自動化により、地下水を確保する考えは。

建設課長

自動化は、制御盤の種類にもよりますが、古い制御盤の場合は約100万円かかります。全個所の自動化に1億円かかることになります。現状では、制御盤の老朽化によって更新をしなければならぬ場合に併せて、自動化を進めていきたいと考えています。

議員

道路の凸凹状況により消雪パイプの水の通り道ができ、水の流れない部分については雪が丘のように残ってしまふ。この道路の形状の改善を行えば少量の水でも路肩までの消雪が可能と考えるが。

建設課長

部分的個所は小規模な舗装対応で可能と思いますが、範囲が広い場合は、舗装の打ち換えにかかる費用が大きくなります。そういった場合は継続事業で対応する等の対策が必要だと思います。

議員

機械除雪、自動化、舗装打ち換えなどいずれも財源が大きな問題になってくる。行政も豊富な財源があれば別だが、限られた中での対応となる。

現在、道路や公園などを地域住民、企業、各種団体などが清掃や管理を行うアダプト・プログラム(道や公園の里親制度)を取り入れる自治体が増えてきている。

住民と行政が一緒になって取り組もうという「協働」また、ともに助け合う「共助」は、これから地域で重要になってくると考える。そこで、道路の里親制度ならぬ、冬に特化した雪道の里親制度を導入しては。

村長

雪の多い山間部の集落では、村で管理すべきところを地区住民が自主的に除雪作業に取り組んでいただき、大変助かっています。アダプト・プログラムは、道路端に花を植えたり、あるいは河川をきれいにすることで地域の方に便益が及べば住民が集まり協働によってそういう状況になると考えます。

ご提言いただきましたアダプト・プログラムにつきましては、どんな形が最適なのか、それが継続的にやれるのしつかりとしたシステムなのか検討は必要ですが、地域住民より除雪ボランティアの提案をいただければ、村としてもやれることを積極的に対応していきたいと考えます。



議会モニター紹介

公募しました議会モニター10名の方が決まりましたのでご紹介します。

■議会モニターとは ※任期は2年間

- ・ 会議を傍聴し会議の運営、質問、答弁などに関する意見をお聞きします。
- ・ 議会だよりを読んでアンケートに回答いただきます。
- ・ モニター会議（議員との意見交換）に出席いただきます。



平田 澄人さん (滝原)

議会運営や議員活動は、今まで議会だよりでしか知ることが出来ませんでした。議会を傍聴し村政の方向性を少しでも理解したいです。



高橋 正弘さん (大石)

大好きな関川村が、もっと住みやすく、誰にでも誇れる素晴らしい村になるよう、しっかり提言していきたいと思ひます。



五十嵐 紀人さん (上関)

30代と若輩者ですが、生まれた頃からお世話になっている関川村に恩返しができるようなモニター活動を実践します。



須貝 克枝さん (高田)

議会活動に参加する機会を与えていただきありがとうございます。微力ながら2年間努めさせていただきます。



加藤 つや子さん (鮎谷)

議会モニターを通じて議会傍聴も初めてさせていただきます。住みよい村づくりのために活動されている議員の皆様宜しくお祈ひします。



高橋 俊さん (高瀬)

村で商売を営む立場の一人として、今後の関川村のために少しでもお役に立てればと思ひます。宜しくお祈ひします。



瀬賀 正平さん (下関)

村民目線のモニターとして、議会運営等の推進になればと思ひます。



大島 毅彦さん (上野新)

村内で生活し村内で職を有する者として、今までと異なる角度から関川村の姿を見て、感じて、より一層知見を広められたらと思ひます。



堀 恵子さん (湯沢)

私は、井の中の蛙大海を知らずですが、われ以外みなわが師という気持ちで努めさせていただきますと思ひます。

4月5日(火) 議会モニター委嘱状交付式を開催し、議会モニターの内容について説明させていただきました。



西井 奈緒子さん (南中)

主婦・母親・働く女性という自分の立場を最大限生かし、議会モニターとして色々な視点から意見を伝えるよう努めたいです。

村民の声

新たな職場にて 多くを学ぶ

内山 巧さん
(南中)



初めまして、今回は希少な機会を頂きましたので只今従事している仕事の内容などを紹介していきます。

去年4月から農業の仕事として地元の会社に就職し、稲作作業に従事しています。

私の実家は元電機店で農業をほぼ経験したことがなく、田植え作業とはどのような工程なのか、どのような機械を使用するのかからないほどで、そこからトラクター、田植え機、コンバインと次々と使い方を覚え作業しました。草刈りに関しても今まで草刈り機を使用したことが無かったのですが、ここで使い方を覚え集落の行事にも参加できました。

1年間農業の仕事が続けてきたのですが、実はもう一つ別の職種としてガソリンスタンドの販売員を去年の6月から従事してきました。そう、女川のガソ

リンスタンドです。もちろんこちらにも初めての経験でまさに初めて尽くしの1年でした。また続きます。会社やスタンドの広告としてブログやLINE公式アカウントを始めたり、車のオイル交換やタイヤの脱着などの作業を覚えたりしました。接客も前職の旅館での経験が役に立っています。ガソリンスタンドとしての新たな取り組みとして一つの考えが生まれました。私は趣味を多く持つっており、その一つがイラストです。小学校の頃から漫画を描いたり近年ではパソコンでイラストを描いています。ただ最近忙しく手を付けてはいなかったのですが、とあるメッセージが届き今までの趣味で描いていたイラストを評価されたことに驚きが大きかったです。自分の描いたイラストを、自身が作曲した曲のイメージとして使用してほしいと言う内容でした。評価してくれる人がいることが分り、出来上がった曲も頂



きとてもいい曲に仕上がっていました。この経験からもしこの先、今の仕事で自分のイラスト技術が役に立つことがあれば惜しみなく協力したいと思っています。ブランドがあるので時間はかかりそうですが・・・今年もまた田植えの準備が始まりました。専用のブラウザアプリを使用して計画を立てたり、マップを使用して作業記録を残すという取り組みも関わらせてもらっています。2年目の米作り、まだまだ覚える事があると思いますが、おいしいお米を目指して頑張っていきます。

編集後記

桜青葉がみずみずしい季節になりました。

東欧の紛争やら、新型コロナウイルス感染症の終息が見えないやら、大変な事が続きましたが、気候が良くなつて、新緑が芽吹く様に、村当局も新たな試みが始まっています。

議会としても新しい試みで、「議会モニター」制度がスタートしました。選任された10名のモニターの方々には、住民目線で、閔川村議会を、厳しく照査し提言をいただけるよう、期待します。(お)

議会広報常任委員会

- 委員長 加藤 和泰
- 副委員長 鈴木 紀夫
- 委員 近 壽太郎
- 伊藤 敏哉
- 小澤 仁
- 高橋 正之